

2025 年度ゼミ（演習 1）要覧

| | |
|----------------------------|---|
| 担当者名 | 林 公則 |
| 演習テーマ | 環境と経済 |
| 演習の内容 | 演習 1 では、社会的金融を学ぶことを通じて視野を広げながら、環境と経済をめぐる現状と課題を考える。問い合わせ立てることと対話を重視して演習を進めていきたい。詳しくはシラバス参照。演習 2 以降では、校外実習の準備をするとともに、それぞれの学生が関心をもっていることを深めていく（演習 2 以降の学びに関しては、「説明会・オフィスアワー」のリンク先のファイルを確認すること）。 |
| テキスト・参考書 | アダム・カヘン（2023）『それでも、対話をはじめよう』英治出版。 林公則（2017）『新・贈与論』コモンズ。 |
| 成績評価の基準 | シラバス参照。ゼミへの出席が基本。 |
| 校外実習 | （ <input checked="" type="checkbox"/> 実施する / <input type="checkbox"/> 実施しない） |
| 校外実習を実施する場合、実習地・時期、個人負担額 | 熊本を中心とした九州。具体的な訪問先は、ゼミ生の希望を尊重しながら決めていく（2023 年度は、福岡県八女市（自然資源を用いた環境・地域づくり、伝統文化・伝統工芸）。天草（自然保護）、島原（農・食）、2025 年度は屋久島（自然保護）、球磨川・川辺川流域（川との共生）、山都町（有機農業）などを訪問する予定）。詳細はウェブページを参（ https://fis.meijigakuin.ac.jp/is/field-study/4/#title03 ）。学生が主体的に校外実習をつくっていく。 2026 年夏休み中（9 月初旬）を想定。個人負担額は、例年は 15～20 万円程度。 |
| 選考方法 | 小論文（実際には自己紹介文）と、原則面談も（みんなの求めていることがゼミを通して学べることと適合かどうかを判断するため）。面談（15～20 分を想定）は、5 月 29 日～6 月 3 日に実施予定。 |
| 小論文 (テーマ、書式・枚数、提出期限・方法) | <p>【書式・枚数】 自己紹介文を提出すること（内容が重複するので、「演習 1 申込書」の「自己紹介」欄には最低限の情報をのみを記載する形で構わない）。形式自由、A4 用紙で 1～2 枚程度。自分がどのような人間なのかをわかりやすく伝えること。</p> <p>【テーマ】</p> <p>① 生い立ち、②好きなこと・嫌いなこと（こだわりのようなものや自分の性格などについて）、③趣味や特技（部活やサークル含む）、④関心があるテーマや関心があること、⑤単に必要だからではなく、本当にそうしたいと思い、心の底から気になり、変えたいと思っていることは何か。自分が真に学びたいと思っていることは何か（※重要）、⑥本ゼミを志望する理由、⑦進路・将来について考えていること、⑧5 月 29 日から 6 月 3 日の期間で、面談可能な日時（曜日と時限）をすべて示すこと、⑨その他伝えておきたいことがあれば。</p> |

| | | 5/29 (木) | 5/30 (金) | 6/2 (月) | 6/3 (火) | |
|--|--|----------|----------|---------|---------|--|
| 1限 | | | | | | |
| 2限 | | | | | | |
| 昼休み | | | | | | |
| 3限 | | | | | | |
| 4限 | | | | | | |
| 5限 | | | | | | |
| 【提出期限・方法】 | | | | | | |
| 5月25日（日） お昼の12時 電子メールに添付して、明学の学番メールから、教員（林）宛に提出（※5/26中に面談の日時を知らせるので必ず私からのメールを確認すること）。 | | | | | | |
| メールアドレス | fwnn4632@nifty.com | | | | | |
| 説明会・オフィスアワー | <p>質問などに訪問可能な時間帯は、火・金曜日の昼休みを基本とする（オンラインであれば、月・木も対応可）。説明会は開催しない。訪問可能期間中、都合がつかない日もあるため、訪問（オンライン含む）の際には、2日前までに必ずメールで連絡すること。</p> <p>ゼミの進め方、方針、目標、例年多く寄せられる質問事項などについては、以下のURL先（下記、欄外のURL先）に文書でまとめたので、アポイントを取る際には、確認のうえ連絡すること。</p> | | | | | |
| 履修済・履修中であることが望ましい授業 | 特になし。 | | | | | |
| 2026・2027年度に在外研究等で演習を開講しない可能性 | <p>あり（2026・2027年度）/なし ※2027年度のサバティカル取得については未確定ではあるが、現時点では取得する可能性が高い。</p> | | | | | |
| 認定留学期間中（演習2・3開講学期中の遠隔指導*） | <p>可/否/その他（応相談）</p> <p>※基本的な方針としては、演習2は否（帰国後に平行履修）、演習3は可であるが、応相談。</p> | | | | | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> 2025年10月25、26日で合宿を予定しているので、できるかぎり都合をつけて参加してもらいたい。 国内外を問わないが、大学内や地域での活動に関心があることが望ましい。 | | | | | |

* 「遠隔指導」については、「演習1」選考に関するガイダンス資料を確認のこと。

※

https://docs.google.com/document/d/1C7PqpVqhNHonTvRv_JjQd12115pZlc7_/edit?usp=sharing&ouid=104668695236904960513&rtpof=true&sd=true